WEEKLY 一宮

題字　PG　安野譲次

Rotary 一宮RC

The Rotary Club of Ichinomiya

●例会日 木曜日　●例会場 一宮商工会議所 ●承認日 昭和24年12月31日

●事務局 〒491-0858 一宮市栄4-6-8 一宮商工会議所ビル5階 電話〈0586〉24-1931

持続可能なインパクトを生み出そう

URL:http://rc138.org　E-Mail:rc138@lily.ocn.ne.jp



重文 「陵王」面　真清田神社蔵

会　　長 桑原英寿　会長エレクト 鈴木洋志
副 会 長 則竹伸也　副 幹 事 二ノ宮道彦
幹　　事 吉山佐人規　会報委員長 豊島晋一

2026年9月10日
第3690回例会
プログラム
ガバナー補佐訪問
西尾張分区ガバナー補佐
大野東秀君（尾張中央RC）

ロータリーソング 「我等の生業」

第3689回例会の記録
2026年9月3日（木）

会長挨拶　桑原英寿

【人を育てる十の心得】

和倉温泉 加賀屋の流儀　加賀屋女将 小田真弓

人を育てる上で大事なことで、まず前提として挙げられるのは、「現場に宝物あり」という事。やはり現場にいかなければ分からないことがたくさんありますから、私は極力玄関に立ち、廊下を歩いて、危ないな、よくないなと思うことはすぐに注意して直させています。

その上で、客室係を育てる上で大切だと感じていることは、十項目あります。

一つ目は、笑顔で相手のいいところを褒めてあげる。ここでのポイントは「ありがとう」と言うことです。よく「ご苦労さん」って言うことがありますけど、どうしても上から目線での物の言い方になりますから、私は「ありがとう」とか「ご苦労様でした。ありがとう」と言うようにしています。

二つ目は、注意する時は言い方に気を付ける。「あんた、こんなことしてダメよ」って頭ごなしに叱っても何よ、あの言い方」「全然私の気持ちを分かってくれない」と反発するだけですから、相手の言い分をまず、聞き、「こんないい面を持っているけどこれだけは気をつけてね」と注意します。

三つ目は、相手との気持ちを通じ合わせる。朝社員に会ったら、こちらから先に笑顔で「おはよう」って挨拶をし一人ひとりの顔色や体調、様子を見て「どうしたの？」「風邪引いた？」などと声をかけるようにしています。

四つ目は、時には外部の研修や講演会などに出してあげて、気分転換させる。

五つ目は、不器用な人、要領よくできない人ほど、より可愛がって大事にしてあげる。できる人は放っておいても努力しますからね。

私の役割は舞台をつくることで、そこで美しく舞うのは社員たちです。社員たちがイキイキと楽しみながら働けるような環境を整えることが、私の仕事だと思っています。

次回の予定

17 日　休会　定款第7条第1節d－1
28 日　尾西RC合同ガバナー公式訪問
24 日の例会変更

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

国際ロータリー第2760地区
2026－2027年度 西尾張分区ガバナー補佐
大野 東秀君（尾張中央RC）



生年月日　1948年3月6日
職業分類　仏 教
勤 務 先　宗教法人 長栄寺
役　　職　院 首

ロータリー歴

1983年12月　尾張中央ロータリークラブ入会（チャーターメンバー）
1988～89・2004～05年度　幹事
1999～00年度　西尾張分区　分区幹事
1991～92・2019～20年度　副会長
2024～25年度　副会長
2012～13・2017年度　会長
マルチプル・ポール・ハリスフェロー　＋3
ベネファクター

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

理事会報告　吉山佐人規

＊ 報告事項 ＊

☆ 9月度のプログラムは週報掲載
☆ 2025-26 年度クラブ優秀賞 受賞
☆ 7/9 卓話 手土産 5,000 円拠出
☆ 第 4 回地区米山記念奨学委員会 登録
☆ 第 3 回地区大会企画委員会 4名登録
☆ 第 1 回クラブ国際奉仕委員長会議 登録
☆ 第 3 回地区青少年交換委員会及び第 2 回オリエンテーション 登録
☆ 第 2 回地区インターアクト委員会 登録
☆ クラブ青少年奉仕関連委員長会議 2名登録
☆ カウンセラー研修会 2名登録
☆ IRG会通帳残高等
☆ 8月度のニコボックス 35,000 円
☆ 8月度のドリンクニコボックスは 4,279 円
☆ ロータリーレート9月から160円（現行 162 円）

＊ 協議事項 ＊ 以下の項目を承認

☆ 奉仕箱基金の取り崩し
☆ 地区大会全員登録
☆ 2027-2028 年度地区大会実行委員会通帳作成
☆ 地区大会プログラム冊子「次年度地区大会のご案内」掲載内容
☆ 補助金申請事業 10月10日（土）8日の例会変更
☆ 地区大会開催 11月14日（土）12日の例会変更
☆ 夜間例会開催 11月19日（木）例会変更
☆ クリスマス家族会開催 12月10日（木）例会変更

委員会報告

ニコボックス　　三嶋啓一郎

☆　足立　誠君

IAC海外研修で、オーストラリアに派遣されました伊藤さん、塚本君に報告の機会を頂いた喜びで。

☆　吉田真人君

本日は、本学インターアクトクラブの岩田君が、海外研修の報告をさせて頂きます。毎年ご支援を頂いております事に感謝を申し上げますと同時に、今日も温かく発表をお聞き頂きますよう様、お願い致します。

☆　則竹伸也君　山田一仁君

先日行われました一宮市制施工105周年記念式典におきまして、身に余ることに一宮商工会議所のご推薦を頂き、産業功労表彰を受賞させて頂けた喜びで。日々、感謝の心を大切に、微力ながら、引き続き努力させて頂きます。

☆　則竹伸也君　吉山佐人規君

本日お客様として、大成中学高等学校伊藤沙弥香さん、塚本大輝さん、修文学院高等学校岩田吏生さん、大成中学高等学校インターアクトクラブ顧問伊藤正一先生、修文学院高等学校インターアクトクラブ副顧問髙木敦司先生をお迎えした喜びで。本日はインターアクトクラブ海外研修報告です。よろしくお願いします。9月1日一宮市民会館リニューアルオープン記念式典、寄附贈呈式に出席いただいた皆様に感謝申し上げます。日々の会員の皆様のお力添えに感謝申し上げます。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

出席報告

現在の会員数	108名
本日の出席数	75名
前々回の出席率	100%

＊＊＊＊＊＊　プログラム　＊＊＊＊＊＊

IAC海外研修報告



大成中学高等学校　伊藤沙弥香さん

私は8月にオーストラリア海外研修に1週間参加しました。今回の留学で得たことは交流をすると知っている知識が増えて自分のできることの幅が広がるということです。私は小学2年生の時初めて兄と二人でオーストラリアへ2週間留学しました。その時、私は yes と no のみで留学に行ったため言っている言葉も分からず毎日怯えて過ごしていました。そこから英語で話せるようになりたいと強く思いました。中学3年生の時、もう1度オーストラリア留学に参加しましたが、自分の英語に自信がなく思うように気持ちを話すことはできませんでした。ですが今回の留学では自分の思いを正直に話したり言いたいことをはっきり伝えることができたので今まで知らなかったオーストラリアのことが今まで以上にわかったと思っています。だからこそ交流することは大事だと思います。

この体験を通して、私は単に語学力を伸ばすこと以上の大切な価値を学びました。それは、失敗を恐れずに自ら一歩踏み出し、相手と心を通わせようとする姿勢そのものです。以前は「伝わらなかったらどうしよう」という不安から受動的になっていましたが、自分の言葉で思いを伝えることで、新しい知識や視点を得られることを実感しました。交流によって広がる世界は、自分の可能性を大きく伸ばしてくれます。今後はこの留学で得た積極性を生かし、日常でも自発的に多くの人と関わりながら、英語学習にもさらに励んでいきたいです。今回の機会をいただいたことに感謝いたします。ありがとうございました。

大成中学高等学校　塚本大輝さん

私は去年オーストラリアに行ったことがありますが、その時はあまり人と交流できなかったので、今回こそはしっかり積極的に交流していきたいという思いで参加しました。私のホストファミリーはフィジー出身の夫婦でした。最初はホストファザーが非常に怖い人だと思っていましたが、夜ご飯を一緒に食べたりしているうちに本当は優しい人だということに気づきました。その時、私はどれだけ人種や、言語が異なっていてもちゃんとその人を知ろうという姿勢と敬意を持ち交流していけば、相手のことを理解できるということを知りました。今回の研修で1番印象に残っているのは現地のインターアクトクラブやロータリアンの方々との交流です。お互いに活動内容を共有しましたが、オーストラリアのインターアクトの方々はがん患者の支援などといった様々な活動を行っています。そのための資金を市場への出店や、募金活動など多種多様な方法で集めており、人や考え方、国土、経済の規模など日本とは違うからなのだろうかと思いつつ、本当に彼らは積極的に様々な活動に取り組んでいて、ぜひ参考にしたいと感銘を受けました。

今回の研修に参加して、私は人種や言語、文化が違っても人はちゃんと理解しようとする姿勢と敬意を持って接すれば、分かり合えるということを学ぶことができました。今回の研修で学んだこと、得たことを活かしてどんな人とも共に歩むことのできるような人になりたいです。ありがとうございました。

修文学院高等学校　岩田吏生さん

海外派遣研修では、現地インターアクトとの交流とオーストラリア文化について特に印象に残りました。研修の4日目に行われた現地インターアクトの活動報告では、日本でも行っている清掃や募金に加え、出産キッドの提供や国内の貧しい人への支援援助など初めて聞くような内容があったので、部員たちにも共有し成長の糧にして欲しいと思いました。またアボリジニの方との交流の中では、歴史をアニメにした YouTube を鑑賞し、歴史について深く知ることができました。そして、アボリジニの9つのシンボルマークと、日本の歴史的な象徴1つである勾玉と合わせたイラストを作成することで、日本とアボリジニの魂が合わさったイラストを作ることができました。日本とオーストラリアの文化の違いとして1番驚いたのは、知らない人同士での会話がとても多かったことです。清掃員やコンビニの店員さんからも「どこからきたの？」と話しかけられました。最初は驚きましたが、フレンドリーな声かけに徐々に対応できるようになったことは、とても嬉しかったです。日本の礼儀正しさは相手を尊重する良い文化ではありますが、オーストラリアのようなフレンドリーさは日本にも広がってほしい魅力的な文化だと思いました。

海外派遣研修全体を通して実感したことは、英語力の低さです。ホストファミリーと生活していても翻訳機を使わないと伝わらないことがあったり、班別行動でもメンバーに頼ったりすることが多くありました。研修メンバーはほとんどが年下ですが、現地の方と流暢に話す姿を見て、とても刺激を受けました。そこで今後は英語を話せない人や日本で困っている外国の方を助けられるよう、英語を学び続けようと思うきっかけになりました。

最後になりましたが、貴重な経験の機会を与えていただきましたロータリークラブの皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

